

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 金沢市立泉中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒 921-8036
金沢市弥生1丁目26番1号

E-mail : izumi-j@kanazawa-city.ed.jp

Website : http://cms.kanazawa-city.ed.jp/izumi-j/

児童生徒数：男子 224名 女子 202名 合計 426名
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

本校では、総合的な学習の時間（以下IT）を中心に学習を進めている。ITは3年間で6期に分け、各学習テーマにしたがって、継続的・計画的に実施している。中でも体験学習や探求活動を積極的に取り入れ、自然環境や社会との「関わり」「つながり」を重視し、持続発展可能な社会の担い手の育成を目指している。

ア I期 自然とともに

学習のスタートとして「いしかわ動物園」を訪問し、環境やエコ活動を考える機会とした。その後、生徒一人一人の環境学習への興味・関心を集約し、7分野（水、ゴミ、エネルギー、食、森林、生き物、空気）で探求活動を行うことになった。その第一として、各分野の専門家を招聘し、その講義をもとに学習課題を設定した。第二に、課題解決のため、市内の関連施設27カ所でフィールドワークを実施した。そして、学習の成果をパネルでまとめ、文化祭で展示するとともに、公開授業で発表した。

イ II期 金沢を知ろう

1年では、金沢の伝統芸能・文化として5つ（加賀鳶、加賀萬歳、素囃子、茶道、能）を取り上げ、それぞれの関連施設で体験・探求活動を実施した。そして、その成果を冊子にまとめ、公開授業で発表した。生徒は、伝統芸能・文化への関心を高め、これらを守り伝えていく大切さに気付いた。

2年では、金沢の伝統工芸について、生徒自らがテーマに沿った見学地を選び、市内班別自主研修としてフィールドワークを行った。この学習成果については、模造紙にまとめ、文化祭で展示した。生徒は、金沢の伝統工芸や文化的景観を深く知ることができ、金沢を再発見することができた。

ウ III期 人とともに

地域で働く人たちとともにキャリア(職場)体験を通して、職業観や勤労観を育み、地域の一員としての意識を高めることができた。また、小グループで、専門的な技術を持つ職業人の話に耳を傾け、働く意義等に思いを馳せた。実際のキャリア体験では、地域の人たちとの触れ合いによって、地域社会の営みについても考える機会とした。学習成果はレポートとしてまとめ、文化祭で展示した。また、英語科においては、この体験を英語で表現し、個人発表とともに教室で掲示した。

エ IV期 日本を知ろう

2年では、金沢の文化的景観や環境保全の施策についての学びをもとに、更に日本の伝統を色濃く残す京都に学習範囲を広げた。そして、金沢に関する学習テーマとの比較から、修学旅行での京都の調査・見学地のプラン作成を行った。

3年では、2年次のプランを活かした京都班別自主研修を実施した。現代に残る日本の伝統文化に触れるとともに、金沢との比較を通して、生徒は、改めて金沢の良さに気付いた。

オ V期 世界を知ろう

金沢の姉妹都市である7都市（гент、イルクーツク、バッファロー、ナンシー、蘇州、プルトアレグレ、全州）を調べ、姉妹都市になった経緯や歴史を知ることにより、国際社会での金沢の役割や今後の交流について考えた。併せて、金沢を世界に発信する方法も考え、新聞という形で発表した。生徒は、今後、金沢の良さを如何に理解していくかが課題であるこ

とに気付いた。

カ VI期 社会とともに

これまでのITの学習を通して培ってきた学習成果をもとに、新しい学習課題を設定してグループで追求することにした。研究成果は学級・学年で発表し、その中の優秀な発表を授業参観で公開した。卒業研究的な色合いが濃く、これまでの学習成果が随所に活かされていた。

キ 生徒会活動

本校の生徒会は、「つながりプロジェクト」として、地域、国内、世界とのつながりを大切にした活動を継続的に行っている。これらを通して、生徒にとっては、その成果を実感できるため、活動意欲の高揚にも結びついている。特に世界とのつながりでは、国際理解教育の推進につながっている。

地域では、清掃奉仕活動や防災訓練への参加、小学校や高齢者施設での「泉中読みきかせ隊」による活動を通して、地域での交流を進めている。国内では、東日本大震災に対し、金沢市のユネスコスクール中学生派遣事業に2年連続参加した。そして、宮城県気仙沼市の中学校との交流を継続中である。現在、人と人とのつながりを大切にした活動にも力を入れている。また、今年度、生徒会が校区内の小学校にも呼びかけ、宮城県名取市へ絵灯籠の絵や字を送った。世界では、「Smile Africa Project」「ユネスコ寺子屋運動」「届けよう 服のチカラ」プロジェクト「ボトルキャップの回収」などを行っている。

ク 食育

環境省の「持続可能な地域づくりを担う人材育成事業」に参加し、「地域と環境が育む食文化」をテーマに実証授業を行った。その導入として、金沢の伝統食を試食した。そこから、「食材」「発酵」「歴史」「作る人」をテーマに、課題設定及びその解決に向け、校区内の老舗をフィールドワークした。そして、老舗の調味料を使った調理実習を行い、調理法による味の変化を実感することができた。これらの学習を通して、生徒は金沢の伝統的な食について考えるとともに、これらを受け継いでいくために各自ができることをまとめ、発表した。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（)